

室内用ドアロック 定期健康診断のおすすめ

「丈夫で長持ち」安全に

ご使用いただくために、定期的なお手入れが必要です！

ラッチ本体は、大きく分けて「チューブラ錠」と「ケース錠」があります。

ラッチ本体は、消耗品です。

定期的な交換をする事で、ドアが開かなくなる等の大きな事故を防ぐ事ができます。

- チューブラ錠は取付け加工の容易さと低価格がメリットです。
正しい取付けと使用が行われていれば問題はありませんが異常な使用状態では、破損につながる危険性があります。
- ケース錠は耐久性が高く、異常な力がかかった場合も壊れにくい構造になっています。



ノブ(握り玉)タイプ



レバータイプ



ラッチ本体
(チューブラ錠)



ラッチ本体
(ケース錠)

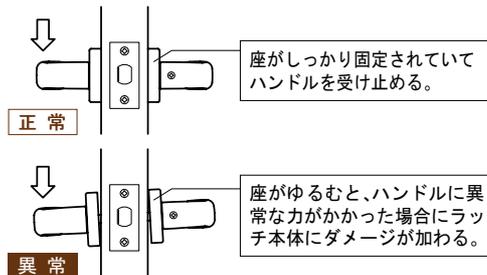
↓ 下記を参考に異常な使用状態でないかチェックしてください。

ゆるんだネジは締め直しましょう！

室内用ドアロックは、普段何気なく使用していますが、取付けネジがゆるんだまま使い続けると、本来の機能、耐久性が発揮できません。ネジのゆるみ等の**異常な使用状態**で使い続けると故障の原因となり、ドアが開かなくなる等思わぬ大きな事故にもつながります。

異常な使用状態とは

- ・長期間の使用でメンテナンスを怠った場合
(ハンドルや座のネジがゆるんだまま使用を続ける等)
(ドア内部の木芯の収縮によるネジのゆるみ)
- ・乱暴な操作を繰り返した場合
(ハンドルを回しきる前にドアを強く引く、お子様のぶら下がり等)
- ・錠に大きな負担がかかる場合
(重いドアでの使用や強力なドアクローザー付きのドア等)
- ・正しい取付けが行われていない場合
(指定外の取付け穴加工、ネジの締め込み不足等)



チェック方法

- ①ハンドル・握り玉のゆるみ
⇒ハンドル・握り玉を引っ張ると少し抜けてくる。
(ハンドル・握り玉と座の間にスキマができる)
- ②座のゆるみ
⇒座をつかんで揺さぶるとグラグラと動く。

⚠ 取付上の注意 ⚠

電動ドライバーは使用しないでください。



- ・ネジの締め過ぎによりハンドルにキズを付ける、ネジをこわす、座の変形、扉のヘコミによる作動不良等を起します。
- ・上記の事を心配して逆にネジの締め付け不足になると、ハンドルの座がガタガタし、いずれ外れてしまい重大な事故へつながります。

手回しドライバーは力の入りやすい柄の大きなプラスドライバー(No.2)を使用して確実に締付けてください。

表面のお手入れ方法

汚れの程度に応じたお手入れ方法

- 軽い汚れの場合■
柔らかい布でから拭きをする
- から拭きでは落ちない汚れの場合■
水を含ませた柔らかい布で水拭きし、から拭きをする
- 水拭きでも落ちない汚れの場合■
柔らかい布に3%程度に薄めた中性洗剤を含ませて拭き取る。次に水を含ませた柔らかい布で中性洗剤をよく拭き取り、から拭きをする

※枠の変形、ドアの反り等で、ラッチボルトの掛かりが悪くなった場合には、専門業者に相談し修正が必要です。修正しないで使い続けると壊れる原因になります。

⚠ お手入れする際の注意 ⚠

- ①指輪及び硬質なものでもキズを付けないようご注意ください。塗膜はがれの原因となる場合があります。
- ②汚れ落としには中性洗剤以外の洗剤・漂白剤・シンナー等で拭かないでください。変色・はがれ等の原因になります。
- ③お手入れの際に洗剤や水分が残らないよう、最後は必ず柔らかい布でから拭きしてください。



- × 酸性やアルカリ性の洗剤
(トイレ用洗剤や住宅用洗剤等)
- × 漂白剤
- × シンナー等の有機溶剤
- × ブラシ等硬いもの

